

令和6年度学校評価報告書

令和7年（2025年）3月21日

北海道教育委員会教育長 様

北海道深川西高等学校長 福 田 雅 人

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 確かな学力の育成を目指した学習指導の充実に向けて、授業の互見等の職員相互の学び合いを推進する。
- (2) 各教育活動の目的・方法等の共通理解のもと、全職員の連携・協働による組織的・系統的な取組を推進する。
- (3) 地域や関係機関等との連携、及び地域の特性や教育資源を活かした教育活動を推進する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	生徒や保護者、地域の要望を踏まえた形の教育課程をおおむね適切に編成し実施できている。今後は探究活動の改善を進め、委員会を中心とした指導について共通理解を図っていく。	教育課程の編成・実施について、適切に行えていると評価する。今後は世間で言われる多様化と言われる時代なので、生徒の自主性を伸ばす指導に期待したい。
改善方策	入学する生徒の多様化に対応するため、今後も生徒・保護者・地域のニーズを踏まえ、教育課程の編成を充実させていく。	
学習指導	教員相互の学び合いを促進させるため、例年行っている授業研究旬間に工夫を加えより参観しやすい形をとり、互いに高め合う中で授業改善を進めた。	ICTの活用がこれからますます求められる。生徒への指導はもちろんだが、教員の使い方についても、さらなる向上を期待したい。
改善方策	次年度もさらに授業研究旬間に工夫・改善を加え、教員相互に高め合う仕組みを作りたい。また研修についてもさらに充実させていきたい。	
生徒指導	年度末評価会議において、本校生徒の身だしなみ指導が課題となった。次年度は分掌を中心とした全職員による共通理解のもと、組織的・系統的な取組を進めていく。	身だしなみなど、指導する難しさもあると思う。生徒の自主性を育てる指導や日常生活の基本となる部分への指導を期待したい。
改善方策	全職員が共通理解に基づき組織的・系統的に対応していく。分掌・委員会を中心とした企画・立案を行い、情報を全体で共有することを推進していく。	
進路指導	入学する生徒がこれまでとは変わっている状況を踏まえ、進学指導だけではなく、就職指導についても研究し、生徒の要望に多面的に対応していく。	確かにこれまでとは違った指導が求められている。卒業する18歳という年齢は成人となる年齢なので、自らの進路を主体的に考える自主性を育てていただきたい。
改善方策	これまで指導の判断を学年に任せる部分が大きかったが、次年度からはより進路指導部が中心となり、指導計画を進めていく。	
健康・安全指導	本校ではいじめ防止対策委員会を中心に、年4回アンケート調査を実施している。その都度委員会を開催し、生徒への対応にあたった。次年度も引き続き、丁寧に対応していきたい。	適切に対応されていると評価する。今後も生徒に寄り添った指導を期待したい。
改善方策	委員会や分掌を中心とした組織的な対応を進めていく。またスクールカウンセラーなど外部の専門家との連携を深め、生徒に寄り添った指導を進めていく。	
公表方法	ホームページへの掲載。PTA理事会、総会等での公表。	

3 添付資料 令和6年度 学校評価アンケート集計表（生徒・保護者・教職員）、自己評価書、学校関係者評価書